

第5・6学年 国語科学習指導案

日時：平成26年9月26日（金）

学校名：猿払村立浜鬼志別小学校

児童：第5学年 男子3名 女子6名

第6学年 男子1名 女子5名

指導者：杉本 旬

学習支援：吉村 美鈴

第5学年

1. 単元名【生き方を見つめて読む】

題材名『大造じいさんとがん』

2. 単元について

本単元は、場面の移り変わりの中で中心人物の変容をとらえることを意図した単元である。それまでは「たかが鳥」と表現していた単なる狩りの対象であったがんの頭領である残雪をいくつかの作戦の展開を経て、最終的に「がんの英雄」「ただの鳥ではない存在」として認めるに至る。その大造じいさんの心情の変容を物語の展開に沿わせて丁寧に扱い、本文中の叙述をもとに読み取らせたい。

3. 児童の実態

全体を通して

昨年度の単式学級を経て、1年ぶりの複式学級となり、学習規律、学び方などを再構築しながら学習を進めている。国語に限らず、学習の様々な部分に苦手意識が強い児童が多く、自信の無さが授業の様子から感じ取れる。また、そのことが学習に向かう姿勢そのものに影響することが多いことから、様々な場面で自信をつけることを心掛けて指導してきた。

国語に関して

文章の理解、読み取りに大きな個人差があり、個の学習の場面では支援が必要になる児童が数名いる。また、自分の考えに自信が持てず、表現することにつながらない児童も多くいる。本単元では、心情を読み取る活動を同じ展開でつなげ、学習活動に見通しをもって取り組み、自分なりの考えを表現させたい。

第6学年

1. 単元名【多様な見方をもとに考えを深める】

題材名『ぼくの世界、きみの世界』

2. 単元について

本単元は、読む活動で意見を述べた文章や解説の文章などを利用する力を身に付け、自分の課題を解決するなどの言語活動につなげることを意図した単元である。「ぼくの世界、きみの世界」を読み、筆者の意図と例を挙げることで効果的に結論を導き出す構成に目を向けさせ、構成を考えた自分なりの意見文を書くことを目指したい。

3. 児童の実態

全体を通して

昨年度から学習規律、学び方などの課題について繰り返し指導し改善を図ってきた。その中で個で行う学習だけでなくグループで学習する等、間接時の学び方についても少しずつ意欲と自信をつけてきている。またそれに伴い、学習へ向かう意欲も高まってきている。学習面では個人差も大きいですが、グループで行う学習ではそれぞれの困り感を助け合いながら解決できるようになってきた。

国語に関して

文章記述から自分の考えを広げたりすることを苦手としている児童が多いが、文章の内容の読み取りは正確にできるようになってきた。ただ読み取りの力が伸びてきた反面、文章で自分の考えや思いを表現することは、まだまだ苦手としている。単純な文章の読み取りについても援助が必要な児童もいるが、本題材でワークシートをもとに筆者の考えや構成を整理することで、構成による効果をとらえ、意見文を書くことにつなげたい。

4 単元の目標

○場面の移り変わりに気を付けて、叙述をもとに中心人物の行動や心情の変容をとらえる。

～題材の目標～

【読む】大造じいさんの行動やせりふから、心情の変化を読み取る

5 単元の指導計画

時	主な学習内容	主な評価規準	時	主な学習内容	主な評価規準
1	全文を読み、大造じいさんの人柄を考え、大まかな場面の構成をとらえる。 (初めの残雪への思い、作戦名、結果、原因、物語の結末)	【読】全文を読み、物語の大まかな構成をとらえている。	1	本文を読み、大まかな文章の構成をつかむ。	【読】本文を読み、大まかな構成をとらえている。
2	1の場面を読み、大造じいさんの心情を読み取る。	【読】大造じいさんの心情を叙述をもとに読み取っている。	2	筆者の気づきの内容についてまとめる。	【読】自分の経験を思い起こしながら本文を読み、筆者の気づきについてまとめている。
3	2の場面を読み、大造じいさんの心情を読み取る。	【読】大造じいさんの心情を叙述をもとに読み取っている。	3	あまみと痛みを例にして筆者が何を言いたいかをまとめる。	【読】筆者が取り上げた例と言いたいことを読み取っている。
4 本時	3の場面前半を読み、大造じいさんの心情を読み取る。	【読】大造じいさんの心情を叙述をもとに読み取っている。	4		
5	3の場面後半を読み、大造じいさんの心情を読み取る。	【読】大造じいさんの心情を叙述をもとに読み取っている。	5 本時	アニメのおもしろさを例にして筆者が何を言いたいかをまとめる。	【読】筆者が取り上げた例と言いたいことを読み取っている。
6	4の場面を読み、大造じいさんの心情を読み取る。	【読】大造じいさんの心情を叙述をもとに読み取っている。	6	筆者の結論をまとめ、それに対する自分の考えを書く。	【書】筆者の出した結論について整理し、自分なりの考えを書いている。
7	大造じいさんの心情の変容の流れと山場をまとめる。	【読】これまでに読み取った心情をもとに大造じいさんの心情の変容と物語の山場をとらえている。	7	身近な事柄を題材にして、それに対する自分の考えを書き出す。	【書】自分の考えを整理し、簡単な文章に表現している。
8	心に残った情景描写を書き抜き、大造じいさんの心情との関わりを考える。	【読】これまでの学習をもとに情景描写の効果について理解している。	8	書きたいテーマを決め、目的や意図に適した資料を集める。	【書】自分の書きたいことを整理し、必要な資料を集めている。
9					

4. 単元の目標

○題材文を読んで、筋道を立てて考えたり、考えを深めたりする方法を知るとともに、自身が見つけた課題についても考えの筋道を立てて述べ、意見文にまとめる。

～題材【第1次】の目標～

【読む】様々な事例を取り上げ、自分なりの結論を導き出す過程に気を付けて読む。

10 ～ 13	資料を効果的に活用し、構成を考えて意見を書く。	【書】効果的な構成を考えながら、意見文を書いている。
14	意見文を読み合い、意見や感想の交流をする。	【書】友達の見文の内容について自分なりの考えを持っている。

6 研究仮説に関わって

研究主題 「自ら学び、基礎・基本を身につける子どもの育成」

～わかる・できるを実感させる授業づくりを通して～

仮説 1

学習指導において、効果的な「学び方」を全校的に確立し、発達段階に合わせて各学級、各授業で実践することにより、進んで学ぶ意欲的な子どもになるであろう。

内容 1

- ①全校で取り組む授業規律の確立
- ②発達段階や実態と乖離しない効果的な学級での学習指導
- ③自己解決、集団解決、学び合いの方法、手順の工夫

具体的な手立て

【自主的に学習を進める力を伸ばすために】

A・リードする児童を意識させながら、グループでの自力解決場面を設定し習慣づける～新出漢字学習の場面で

仮説 2

授業作りにおいて、確実に身につけたい基礎的・基本的な学習内容を明確にし、一単位時間または単元構成の指導法を工夫することにより、基礎的・基本的な学習が身につくであろう。

内容 2

- ①見通しを持ち主体的な学びを進めるための学習過程の工夫
- ②基礎的・基本的な内容の明確化
- ③教材・教具・動機付けの工夫

具体的な手立て

【読解が苦手な児童も安心して思考を深め、自分なりの考えが表現できるように】

- B・課題にせまりやすいワークシートや短冊づくりを活用して「書く」活動を設定する。
- C・個での自力解決と小グループでの意見交流を織り交ぜながら、課題解決させる。
- D・ヒントカードを用い、つまづいてもあきらめず課題に取り組めるようにする。

仮説 3

授業作りにおいて、他者と関わりながら個に応じて意欲につながる評価活動を行うことにより、自信を持って仲間とともに学びあえる子どもになるであろう。

内容 3

- ①指導と評価の一体化
- ②個に応じた支援と評価の工夫
- ③自己評価と相互評価の工夫

具体的な手立て

【学習を振り返り、自信を持って次の学習へ意欲が持てるように】

E・振り返りやすい観点を、わかりやすく提示し、自己評価の場面を作る。

7本時について

I 本時の目標

読 3の場面前半を読み、大造じいさんの心情を読み取ることができる。

II 本時の展開

I 本時の目標

読 三段落を読み、筆者の言いたいことを読み取ることができる。

5 年		わたり	6 年		
場面	児童の学習活動	教師の関わり・評価	児童の学習活動	教師の関わり・評価	場面
つかむ5分	<p>☆課題の把握</p> <p>おとりがん作戦中の大造じいさんの気持ちを考えよう。</p>	<p>★前時までの想起</p> <p>★課題の提示</p>			振り返る10分
調べる20分	<p>3の場面前半の大造じいさんの気持ちを読み取りましょう。</p> <p><見つける></p> <p>①本文中の気持ちがわかる記述に線を引く。個</p> <p>②グループ毎に吟味して結果を黒板に貼る。(白の短冊) グ 手立てB</p> <p>③同じ意見をまとめる。全</p> <p><考える></p> <p>④大造じいさんの気持ちを考え、短冊に書く。個</p> <p>・「うまくいくぞ。」→今度こそ成功する。絶対に失敗しないぞ。</p> <p>・「青くすんだ空を見上げながらにっこりした。」→うまくいきそうだ。</p> <p>・「大造じいさんのむねはわくわくしてきた。」→早くつかまえたい。</p> <p>・「ひとあわふかせてやるぞ。」→やっとな残雪に勝てる。待ってろ、残雪!</p> <p>・「どうしたことだ。」</p> <p>→おかしいな。どうしてだろう。</p>	<p>★1・2の場面と同じような手順で考えさせる。</p> <p>→手順カード</p> <p>★活動の手順と短冊の使用方法を確認する。</p>		<p>☆新出漢字の熟語作り、意味の確認をする。個→全 手立てA</p> <p>★新出漢字・読みを板書しておく。</p> <p>三段落で筆者が言いたいことをまとめよう。</p>	
			<p>☆課題の把握</p>	<p>★課題の提示</p> <p>★ワークシートの使用方法を確認する。</p>	つかむ5分
			<p>3段落を読んで、読み取った内容をワークシートに記入しましょう。手立てB</p> <p>☆ワークシートに読み取った内容を記入する。個→グ</p>	<p>手立てD</p> <p>□ヒントカード</p> <p>○注目すべきキーワード</p> <p>①言葉を追加したワークシート</p> <p>②筆者と同じような経験の例</p> <p>・言葉のキャッチボールで共感した経験～「なるほど。」「わたしと同じだ。」</p> <p>例) 好きな芸能人の話</p> <p>・言葉のキャッチボールで考え方のちがいが分かった経験～「そういう考え方もあったのか。」</p> <p>例) 行事の目標を立てる話し合い。学期末の反省の話し合い。</p>	調べる20分

深 め る 15 分	☆グループ毎に交流し、 自分の考えを黒板に貼 る。 グ 手立てC				
				『言葉や表情をやり取りすること』によ って『それなりに心を伝えたり受け取っ たりしている。』	深 め る 10 分
振 り 返 る 5 分	☆その場面の大造じいさ んの気持ちをまとめる。 全	★おとりがん作 戦の経過をおさ えながらまとめ る。	☆筆者と同じように 手立てC 感じた体験について 友達と交流する。 全		
		うまいくとっていたおとり作戦が、 はやぶさのせいで失敗しておどろいてい る。 手立てE		☆自己評価を記入す る。 手立てE	
	☆自己評価を記入する。	★次時の予告			

8 座席表

6年生

A・H 自分なりの表現 で筆者の考えを ワークシートに まとめることが できる。	R・S ヒントカードを 活用しながら、 ワークシートに 記入できる。 (要個別指導)	T・M 自分なりの表現 で筆者の考えを ワークシートに まとめることが できる。
M・Y ヒントカードを 活用しながら、 ワークシートに 記入できる。	J・Y ヒントカードを 活用しながら、 ワークシートに 記入できる。	T・N 自分なりの表現 で筆者の考えを ワークシートに まとめることが できる。

5年生

A・I 叙述に注意しな がら読み、大造じい さんの気持ちを考 えることができる。	H・Y 叙述に注意しな がら読み、自分な りの考えを持つこ とができる。
	K・Y (要個別支援) 友達の助けを得 ながら、自分な りの考えを持つこ とができる。
K・N 叙述に注意しな がら読み、大造じい さんの気持ちを考 えることができる。	M・E 叙述に注意しな がら読み、自分な りの考えを持つこ とができる。
	K・Y (要個別支援) 友達の助けを得 ながら、自分な りの考えを持つこ とができる。
K・H 叙述に注意しな がら読み、大造じい さんの気持ちを考 えることができる。	H・T 叙述に注意しな がら読み、大造じい さんの気持ちを考 えることができる。
	M・A 叙述に注意しな がら読み、自分な りの考えを持つこ とができる。

